

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 1 日現在

機関番号：15101

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2020～2022

課題番号：20K08403

研究課題名（和文）心不全地域連携のためのスタッフ学習プログラムに関する研究

研究課題名（英文）Study for the development of learning programme for heart failure community collaboration.

研究代表者

衣笠 良治（KINUGASA, Yoshiharu）

鳥取大学・医学部・講師

研究者番号：60598944

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：研究1:心不全の地域連携に関するアンケート調査より以下の問題点が明らかとなった。1.病院とかかりつけ医間で情報共有が不十分。2.かかりつけ医は心不全の標準的治療薬の導入率が低い。3.病院では介護負担やフレイルの評価が不十分。4.全国的に連携体制の構築が不十分。
研究2:心不全の地域連携パスを作成し、導入後に連携の満足度調査をおこなった。病院、介護施設では、情報共有の満足度と連携の満足度が最も相関し、診療所では、効率性の満足度と連携の満足度が最も相関していた。以上より、病院、介護施設のスタッフは地域連携に情報共有の向上を求めており、診療所のかかりつけ医は効率性の向上を求めていると考えられた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究により心不全の地域連携の現状と問題点が明らかとなった。また、連携に求めるニーズが、施設や職種によって違うことも明らかとなった。これらの知見は、各地域にあった連携のモデルを構築する上で重要と考えられる。また、今回の知見は心不全の地域連携を推進する上で社会的な啓発にも役立つと考えられる。

研究成果の概要（英文）：Study 1: A questionnaire survey on community collaboration in heart failure (HF) revealed the following problems: 1. inadequate information sharing between hospitals and family doctors; 2. family doctors less provide standard HF medications; 3. inadequate assessment of care burden and frailty in hospitals; 4. insufficient establishment of a collaboration system for HF
Study 2: A community collaboration pathway for HF was developed and a satisfaction survey of collaboration was conducted after its introduction. In hospitals and nursing homes, satisfaction with information sharing correlated with satisfaction of collaboration, while in clinics, satisfaction with efficiency correlated with satisfaction of collaboration. These results suggest that staff in hospitals and nursing homes are needing improved information sharing in community collaboration, while staffs in clinics are needing for improved efficiency in community collaboration for HF

研究分野：循環器内科

キーワード：地域連携 医療 介護 心不全

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

人口の高齢化に伴い、心不全患者が急増している。高齢心不全患者は、身体的・精神的、社会的フレイルを合併することが多く、医療と介護が連携して地域で心不全を包括的にみることが不可欠である。しかし、心不全の地域連携における診療の標準化はおこなわれておらず質を評価する方法は確立されていない。また、地域で心不全診療と連携方法を学習するためのプログラムも存在しない。

2. 研究の目的

1. 心不全の地域連携における質指標 (QI; Quality indicator) の作成、ならびに連携の質に関する実態調査
2. 心不全地域連携プログラムの作成と有効性の検証

3. 研究の方法

研究1: 質指標の作成

厚生労働科学研究班、「地域におけるかかりつけ医等を中心とした心不全の診療提供体制構築のための研究班」と共同研究をおこない、各国のガイドライン、ステートメント、既存の質指標をもとに心不全診療と連携に関する4つのドメインからなる質指標の案を作成した。1. 地域における連携・情報共有の質、2. 地域における心不全診療の質、3. 地域における多職種介入の質、4. 地域における心不全診療・連携体制の質。同研究班に所属する多職種からなる心不全専門家64名を対象にデルファイ法を用いて指標の適切性を評価した(2回のアンケート調査をおこない回答者の80%以上が適切と判定した指標を選出した)。指標は病院に勤務する循環器医、地域のかかりつけ医毎に作成した。また、この質指標をもとに病院に勤務する循環器医、地域のかかりつけ医を対象に全国アンケート調査をおこない、日本の心不全地域連携に関する実態調査を行った。

研究2: 心不全の地域連携プログラムの作成

鳥取県西部地区において、医師会と共同で心不全地域連携パスを作成し、心不全診療と連携のための標準化プログラムを作成した: 心不全手帳を用いた患者のモニタリング方法の標準化、心不全管理マニュアルを用いた診療の標準化、申し送りシートを用いた情報共有の標準化。プログラムの詳細はURL参照: <https://www.seibu.tottori.med.or.jp/isikai/path/path.html> 病院と、診療所、介護事業所間で連携パス導入し、アンケート調査からカスタマーサービス分析を行いプログラムの満足度を検証した。

4. 研究成果

研究1

病院勤務の循環器医の質指標として34個、かかりつけ医の指標として27個が選出された(表1に指標の一部を示す)。各指標の実施率を調べるため全国アンケート調査をおこない、病院に勤務する循環器医281名、かかりつけ医145名から回答を得た。心不全の地域連携の質として、以下の問題点が明らかになった。1. 地域における連携・情報共有の質として、病院の循環器医とかかりつけ医との間で診療情報提供書に求める情報のギャップがあり、特に病院の循環器医は生活・介護に関する情報提供が不足する傾向があった。2. 地域における心不全診療の質として、かかりつけ医は心不全の標準的治療薬の導入率が低く、心不全治療に地域格差が存在することが示唆された。3. 地域における多職種介入の質として、病院の循環器医は介護負担やフレイルの評価が不十分であった。4. 地域における心不全診療・連携の体制の質として、病院と地域間の退院前カンファレンスの実施率、参加率は低く、循環器の専門スタッフに相談できる窓口を設けている施設も少なく、全国的に連携体制の構築が不十分であることが示唆された。以上より、心不全の地域連携における日本の実状と問題点、改善点が明らかとなった。

研究2

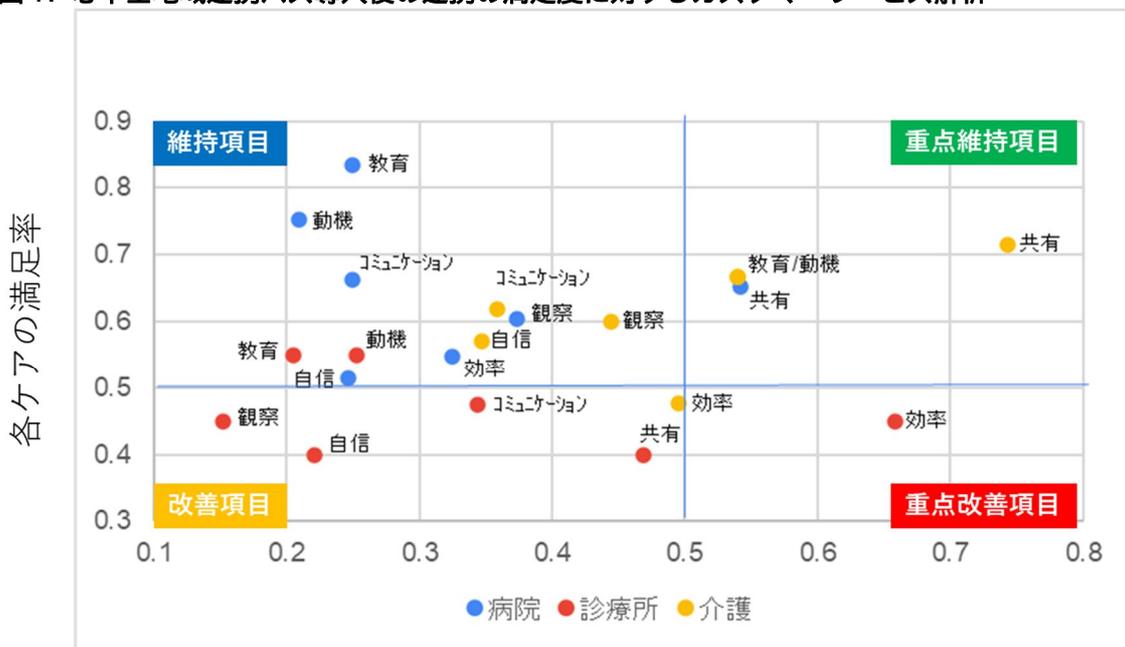
上記、心不全の地域連携の質指標にもとづき地域連携の標準プログラムを導入し、プログラム導入後の心不全診療、連携の質に関しての調査をおこなった。病院スタッフ150名、診療所、介護事業所のスタッフ41名から回答を得た。プログラム導入後、連携が向上したと評価したスタッフの割合は、病院で57%、診療所で35%、介護施設で71%であった。プログラム導入後の満足度を評価したところ、病院と介護施設では、教育介入の質向上が最も高く(病院:83%、診療所:56%)、介護施設では情報共有の質向上が最も高かった(71%)。連携の満足度とケアの質の満足度との相関を分析したところ、病院、介護施設のスタッフは、情報共有の満足度が連携の満足度と最も相関していた(病院:相関係数=0.72、介護施設:相関係数=0.86)。一方、診療所では、効率性の満足度が連携の満足度と最も相関していた(相関係数=0.81)。以上の結果より、病院、介護施設のスタッフは地域連携に情報共有の向上を求めており、診療所のかかりつけ医は効率性

の向上を求めていると考えられた。心不全の地域連携に求めるニーズは施設、スタッフによって違う可能性があるためニーズと多様性を考慮したプログラムの確立が心不全の地域連携の発展に不可欠と考えられた。

表1. 心不全の地域連携の質指標 抜粋¹⁾

1. 地域における連携・情報共有の質
心不全増悪で入院し、退院後に訪問診療や訪問看護を新規に導入する患者において、退院前に病院と地域の医療・介護スタッフと一緒にカンファレンス（webカンファレンスを含む）を行い、参加する
2. 地域における心不全診療の質
外来のNYHA 以上（既往を含む）のHFrEF（EF<40%）において、ACE-I/ARB（サクビトリルバルサルタンを含む） 遮断薬、MRA を認容性があり、禁忌でない限り投与する
3. 地域における多職種介入の質
高齢（75歳以上）の外来心不全患者において、フレイルに関連する以下の項目のいずれかを評価する 身体機能・生活機能、栄養状態、咀嚼、嚥下状態、外出の頻度（閉じこもりの有無） 認知機能、抑うつの有無
要支援、要介護状態に該当する外来心不全患者において、家族・介護者の介護負担を評価して支援する
4. 地域における心不全診療・連携の体制
地域の医療、介護スタッフが循環器の専門スタッフ（循環器医、慢性心不全認定看護師、心不全療養指導士、心リハ指導士）に相談できる窓口を設ける

図1. 心不全地域連携パス導入後の連携の満足度に対するカスタマーサービス解析²⁾



連携に対する各ケアの満足率

縦軸は回答者の心不全診療のケアに対する現在の満足率、横軸は地域連携に対する満足率と各ケアの満足率との相関係数を示す（この値が高い項目ほど連携の満足度を規定する因子となる。病院と介護施設のスタッフでは情報の共有、診療所のスタッフでは効率性の満足度が高いと連携の満足度が高いと感じることを示している）。左上の維持項目と右上の重点維持項目は、連携パス導入によりケアの満足度が高い項目であり、特に右上の項目は連携の満足度に影響するため維持が必要な項目である。左下と右下の項目は、現在ケアの満足度が低く改善が必要な項目を指す。特に、右下の重点改善項目は、連携の満足度に影響する項目のため、最優先で改善が必要な項目である。

参考文献

- 1). Differences in Priorities for Heart Failure Management Between Cardiologists and General Practitioners in Japan.
Kinugasa et al. Circ J. 2021 Aug 25;85(9):1565-1574.
- 2). Differences in needs for community collaboration for heart failure between medical and nursing care staff.
Kinugasa Y et.al. Heart Vessels. 2022 Jun;37(6):969-975.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 3件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 Kinugasa Y, Fukuki M, Hirota Y, Ishiga N, Kato M, Mizuta E, Mura E, Nozaka Y, Omodani H, Tanaka H, Tanaka Y, Watanabe I, Yamamoto K, Adachi T.	4. 巻 37
2. 論文標題 Differences in needs for community collaboration for heart failure between medical and nursing care staff.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Heart Vessels.	6. 最初と最後の頁 969-975
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s00380-021-01988-8.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kinugasa Y, Saitoh M, Ikegame T, Ikarashi A, Kadota K, Kamiya K, Kohsaka S, Mizuno A, Miyajima I, Nakane E, Nei A, Shibata T, Yokoyama H, Yumikura S, Yumino D, Watanabe N, Isobe M; Research Team for the Provision of Heart Failure Care Centered on General Practitioners in the Community.	4. 巻 85
2. 論文標題 Differences in Priorities for Heart Failure Management Between Cardiologists and General Practitioners in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Circ J.	6. 最初と最後の頁 1565-1574
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1253/circj.CJ-21-0335.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Kinugasa Y, Saitoh M, Ikegame T, Ikarashi A, Kadota K, Kamiya K, Kohsaka S, Mizuno A, Miyajima I, Nakane E, Nei A, Shibata T, Yokoyama H, Yumikura S, Yumino D, Watanabe N, Isobe M; Research Team for the Provision of Heart Failure Care Centered on General Practitioners in the Community.	4. 巻 63
2. 論文標題 Quality Indicators in Patient Referral Documents for Heart Failure in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int Heart J.	6. 最初と最後の頁 278-285
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1536/ihj.21-617.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計3件（うち招待講演 0件／うち国際学会 0件）

1. 発表者名 衣笠良治
2. 発表標題 高齢心不全における健康寿命の延長を目指したチーム医療
3. 学会等名 日本心臓病学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 衣笠良治
2. 発表標題 A Survey of Community Collaboration in Heart Failure
3. 学会等名 日本循環器学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 衣笠良治
2. 発表標題 心不全の地域連携 実態と課題 今後の在り方について
3. 学会等名 オンラインシンポジウム
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	加藤 雅彦 (KATO Masahiko) (40362884)	鳥取大学・医学部・教授 (15101)	
研究分担者	柳原 清孝 (YANAGIHARA Kiyotaka) (50788180)	鳥取大学・医学部・助教 (15101)	
研究分担者	山本 一博 (YAMAMOTO Kazuhiro) (90303966)	鳥取大学・医学部・教授 (15101)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------